

資料館だより

第 20 号
平成28年3月



《巻頭写真》

古民家園に復元された「須崎家内蔵」が一般公開を迎えます！
(関連9～11ページ)

目 次

目次・巻頭写真	1
特集1 特別展・企画展にみる資料館の30年	2
特集2 古民家園に復元された市指定有形民俗文化財「須崎家内蔵」	9
平成27年度 資料館・古民家園の催し	12
市指定史跡「満願寺跡」復元工事について	15
新指定！立川氏文書	16

特集1 特別展・企画展にみる資料館の30年

立川市歴史民俗資料館は、昭和60(1985)年12月1日に開館しました。平成27(2015)年12月をもって開館以来30年が経過したことになります。この30年間で資料館は様々な催しを行ってきました。開館当初は、展示よりも資料の収集や保存に重点を置いていましたが、博物館・資料館を取り巻く社会の変化により、教育・普及事業へ力を注ぐことが求められるようになり、今では体験学習ともに企画展は資料館事業の中核といえるでしょう。

他館では特別展と企画展を明確に使いわけている場合もありますが、当館では、かつては特別展としていましたが、現在は企画展を使っています。また現在では展示品が多く特別展示室で開催する展示は「企画展」、ラウンジや廊下だけを使用する展示は「ミニ企画展」と使い分けています。

昭和60年の開館当時は現在の本館だけでした。展示スペースは常設展示室で、企画展や特別展は廊下や会議室を一時的に使用して開催していたようです。必然的に写真を使った展示が多く開催されていました。平成3(1991)年7月に新館がオープンしました。新館には会議室や体験学習室が

設けられ、本館の会議室は特別展示室に変更になりました。特別展示室最初の特別展は、「立川の遺跡展」でした。

平成10(1998)年3月に常設展示室がリニューアルされました。平成10年度以降、企画展の数が増えていきました。リニューアルに先立ち、平成5年10月には資料館附属施設として、幸町に「川越道緑地古民家園」が開園し、小林家住宅が移築復元されました。開園当初、企画展示は行っていませんでしたが、平成13年から桃の節句展等が開催されるようになりました。

現在では春に「端午の節句」展、夏に「立川の遺跡」展、秋に企画展、冬に「桃の節句」展、年度末もしくは次年度初頭に「新収蔵品展」を開催して、企画展と企画展の間に年数回ミニ企画展を行っています。このようなスタイルが成立したのは、平成14年度からです。

近年では資料館における企画展示だけではなく、関連講演会やギャラリートーク(展示解説)などを行うことが多くなっています。これからも展示だけではなく関連のイベントを行い、地域の文化財情報の発信基地として、より魅力的な企画展にしていけるように努めていきます。

特別展・企画展一覧表 昭和61年度～平成4年度

昭和61年度(1986)

展 示 名	期 間	場 所
小写真展「立川駅の移り変わり」	昭和61年8月5日～8月17日	廊下
小写真展「立川駅周辺の今昔」	昭和61年8月19日～08月31日	廊下
特別展「写真にみる立川の近現代史」	昭和61年11月5日～11月24日	講座室及び廊下
小写真展「立川飛行場のあゆみ」	昭和61年11月25日～2月22日	廊下
特別展「石川俊雄氏遺作写真展 I」	昭和62年2月25日～4月5日	講座室及び廊下
スペースの関係もあり、写真の展示ばかりでした。石川俊雄さんは、元立川市文化財保護審議会委員で、50年に渡って撮影した写真のうち、立川に関係あるものの一部を展示しました。		

昭和62年度(1987)

ミニ展示会「地図にみる立川の移り変わり」	昭和62年4月7日～7月19日	廊下
小写真展「立川駅の移り変わり II」	昭和62年7月21日～8月2日	廊下
小写真展「立川の野草 I」	昭和62年8月4日～8月16日	廊下
特別展「立川の食生活展」	昭和62年11月17日～12月13日	講座室
小写真集「立川駅の移り変わり III」	昭和63年1月31日～3月6日	廊下
特別展「石川俊雄氏遺作写真展 II」	昭和63年3月8日～4月10日	講座室及び廊下
「立川の食生活展」では、縄文時代から近代までの食べ物や食生活用具の移り変わりを展示しました。		

昭和63年度(1988)

写真展「立川100年のあゆみ」	昭和63年7月19日～7月31日	廊下
写真展「立川の野草 II」	昭和63年8月2日～8月24日	廊下
写真展「立川駅100年のあゆみ」	昭和63年8月16日～8月31日	廊下

平成元年度(1989)

所蔵品展「はかる」	平成2年3月24日～5月20日	講座室
-----------	-----------------	-----

平成2年度(1990)

写真展「立川の今昔」	平成2年12月11日～1月20日	講座室
------------	------------------	-----

平成3年度(1991)

増築工事完成記念「立川の遺跡展」	平成3年7月20日～9月1日	特別展示室
昭和末期から平成初頭にかけて、市内では向郷遺跡など大規模な発掘調査が行われていました。展示ではそれらの調査の成果を展示しました。		

平成4年度(1992)

特別展「立川の遺跡展」	平成4年8月1日～9月6日	特別展示室
特別展「機織り作品展」	平成5年3月27日～5月9日	特別展示室
新館の体験学習室では、様々な体験学習事業が行われるようになりました。その中には「機織り教室」もありました。教室でつくった作品を「機織り作品展」で展示しました。		

特別展・企画展一覧表 平成6年度～平成12年度

平成6年度(1994)

展 示 名	期 間	場 所
特別展「太平洋戦争と立川」	平成7年2月28日～5月8日	特別展示室・ラウンジ

平成7年は戦後50周年に当たります。「太平洋戦争と立川」では初めて多摩地区の博物館・資料館(昭島市・福生市・東大和市・武蔵村山市)と連携を図り、一部資料の共同作成や巡回展示を行いました。

平成7年度(1995)

企画展「歴史民俗資料館 この10年」	平成7年12月19日～2日4日	特別展示室
開館10周年を記念して、10年間の資料館の活動を写真・年表などで展示。他に近年の発掘調査の成果や収蔵している民具も展示しました。		

平成8年度(1996)

特別展「砂川の桑苗」	平成8年6月18日～8月4日	特別展示室
かつて砂川地区で盛んにおこなわれていた桑苗関連の道具や写真を展示。		

平成10年(1998)

ミニ企画展「立川の遺跡」	平成10年12月8日～1月24日	ラウンジ・廊下
「立川の遺跡」は近年の発掘調査成果を展示、次年度以降毎年遺跡展は継続しています。		

平成11年(1999)

収藏品展「菓子木型」	平成11年3月16日～5月5日	ラウンジ
ミニ企画展「麦作の農業」	平成11年5月18日～2ヶ月程度	ラウンジ
企画展「立川の遺跡」	平成11年8月1日～9月19日	特別展示室
ミニ写真展「写真で見る各地の水車」	平成11年7月29日～9月5日	廊下
ミニ写真展「立川駅周辺の移り変わり」	平成11年9月11日～10月31日	廊下
企画展「暖」	平成11年11月2日～12月19日	特別展示室
ひな人形展	平成12年2月16日～3月5日	古民家園
この年からひな人形の展示(桃の節句展)が始まりました。現在は資料館と古民家園の2ヶ所で開催していますが、当初は古民家園だけで展示していました。現在は多くの館でひな人形展を行っています。多摩地区のなかでは早く始めました。「暖」では火鉢やストーブなどいろいろな暖房具を展示。		

平成12年度(2000)

ミニ企画展「映画の街立川」	平成12年5月2日～6月11日	ラウンジ
企画展「くらしの道具の移り変わり」	平成12年8月1日～8月31日	特別展示室
ミニ企画展「立川の遺跡2000」	平成12年8月1日～8月31日	ラウンジ
企画展「立川の文化財」	平成12年10月30日～12月3日	特別展示室
「桃の節句展」	平成12年2月15日～3月4日	古民家園

「映画の街立川」は新たに刊行された『映画の街とその時代』関連展示。「立川の文化財」は立川市の指定文化財を集めて展示しました。平成17・19・20・21・24年にも展示品の一部を変え開催しています。また東京文化財ウィークの関連事業として、個人所有の都指定有形文化財「銅鉦鼓」をお借りして同時期に展示しました。銅鉦鼓の展示は、平成13年以降も継続して行っています。

特別展・企画展一覧表 平成13年度～平成17年度

平成13年度(2002)

展示名	期間	場所
企画展「収蔵品展」	平成13年5月2日～6月3日	特別展示室
企画展「砂川分水とタマグルマ」	平成13年8月1日～9月2日	特別展示室
ミニ企画展「速報 立川の遺跡2001」	平成13年8月1日～9月2日	ラウンジ
企画展「中世の立川を探る」	平成13年10月30日～12月2日	特別展示室
「桃の節句展」	平成14年2月15日～3月10日	古民家園
企画展「収蔵品展」	平成14年3月1日～3月31日	特別展示室
<p>「タマグルマ」とは砂川分水にかかっていた水車の名称です。新たに始まった「収蔵品展」は、前年度もしくは当該年度にご寄贈いただいた資料を展示しています。平成13年以降、毎年行われています(平成15年度以降は「新収蔵品展」)。「中世の立川を探る」は、中世に立川市域を拠点にしていた「立川氏」関連の古文書が、立川市文化財に指定されたことに因む展示。同名の講演会も開催されました。</p>		

平成14年度(2002)

「端午の節句飾り」	平成14年4月23日～5月6日	ラウンジ・古民家園
企画展「運ぶ道具」	平成14年5月21日～6月23日	ラウンジ
企画展「立川の遺跡2002」	平成14年8月1日～8月31日	特別展示室
企画展「資料館のやきもの」	平成14年11月1日～12月1日	特別展示室
「桃の節句展」	平成15年2月15日～3月9日	ラウンジ・古民家園
企画展「収蔵品展」	平成15年3月1日～3月30日	企画展示室
<p>この年から端午の節句展が始まりました。以降毎年展示しています。</p>		

平成15年度(2003)

ミニ展示「端午の節句飾り」	平成15年4月19日～5月11日	ラウンジ・古民家園
企画展「立川の遺跡2003」	平成15年8月2日～8月31日	特別展示室
企画展「江戸時代の立川」	平成15年11月1日～11月30日	特別展示室
ミニ展示「桃の節句展」	平成16年2月14日～3月7日	ラウンジ・古民家園
企画展「新収蔵品展」	平成16年3月2日～3月31日	特別展示室
<p>「江戸時代の立川」は江戸開府400周年記念事業。江戸時代の絵図や幟を展示。</p>		

平成16年度(2004)

ミニ展示「端午の節句展」	平成16年4月17日～5月9日	ラウンジ・古民家園
企画展「立川の遺跡2004」	平成16年7月27日～9月5日	特別展示室
企画展「幕末の立川」	平成16年11月3日～11月30日	特別展示室
ミニ展示「江戸角風展」	平成16年12月25日～1月30日	ラウンジ
ミニ展示「桃の節句展」	平成17年2月11日～3月6日	ラウンジ・古民家園
企画展「新収蔵品展」	平成17年3月1日～3月31日	特別展示室

平成17年度(2005)

ミニ展示「端午の節句展」	平成17年4月6日～5月8日	ラウンジ・古民家園
月替わりミニ展示「麦」	平成17年5月25日～6月19日	ラウンジ

特別展・企画展一覧表 平成17年度～平成20年度

平成17年度(2005)

展 示 名	期 間	場 所
企画展「立川の遺跡2005」	平成17年7月26日～9月4日	特別展示室
月替わりミニ展示「計る!量る!測る!」	平成17年9月10日～10月23日	ラウンジ
企画展「立川の文化財」	平成17年11月1日～11月30日	特別展示室
月替わりミニ展示「正月飾り～神酒の口～」	平成17年12月10日～1月15日	ラウンジ
月替わりミニ展示「暖をとる民具」	平成18年1月25日～2月8日	ラウンジ
ミニ展示「桃の節句展」	平成18年2月11日～3月5日	ラウンジ・古民家園
企画展「新収蔵品展」	平成18年3月1日～3月31日	特別展示室

月替わりミニ展示は、ラウンジを使用して、通常展示していない収蔵品を展示。企画展を開催していない期間に小規模な展示を行い、収蔵品の活用を図りました。

平成18年度(2006)

ミニ展示「端午の節句展」	平成18年4月15日～5月7日	ラウンジ・古民家園
ミニ展示「灯りの民具」	平成18年5月25日～6月30日	ラウンジ
企画展「立川の遺跡2006」	平成18年7月25日～9月3日	特別展示室
ミニ展示「いろいろな写真機」	平成18年10月1日～10月25日	ラウンジ
企画展「中世立川氏の古文書」	平成18年11月1日～11月30日	特別展示室
ミニ展示「商いの道具」	平成18年12月10日～12月25日	ラウンジ
ミニ展示「教育資料展」	平成19年1月16日～2月7日	ラウンジ
ミニ展示「桃の節句展」	平成19年2月10日～3月4日	ラウンジ・古民家園
企画展「新収蔵品展」	平成19年3月1日～3月31日	特別展示室

「中世立川氏の古文書」では平成13年に指定された「立川氏文書」に加え、新たに発見され当館に寄託された立川氏関連文書を展示。

平成19年度(2007)

ミニ企画展「端午の節句」	平成19年4月14日～5月6日	ラウンジ・古民家園
ミニ企画展「蒸す民具・炊く民具」	平成19年5月26日～7月1日	ラウンジ
企画展「立川の遺跡2007」	平成19年7月26日～9月2日	特別展示室
ミニ企画展「いろいろな容器 樽・甕・壺」	平成19年9月26日～10月21日	ラウンジ
企画展「立川の文化財」	平成19年11月1日～11月30日	特別展示室
ミニ企画展「桃の節句」	平成20年2月9日～3月9日	ラウンジ
企画展 新収蔵品展	平成20年3月25日～5月6日	特別展示室

平成20年度(2008)

ミニ企画展「端午の節句」	平成20年4月12日～5月6日	ラウンジ・古民家園
企画展「立川の遺跡2008」	平成20年7月29日～8月31日	特別展示室
企画展「立川の文化財」	平成20年11月1日～11月30日	特別展示室

特別展・企画展一覧表 平成20年度～平成24年度

平成20年度(2008)

展示名	期間	場所
ミニ企画展「桃の節句」	平成21年2月7日～3月8日	ラウンジ・古民家園
企画展「新収蔵品展」	平成21年3月26日～5月10日	特別展示室

平成21年度(2009)

ミニ企画展「端午の節句」	平成21年4月12日～5月6日	ラウンジ・古民家園
企画展「昔の道具展」	平成21年8月1日～8月30日	特別展示室
企画展「立川の文化財」	平成21年10月31日～11月29日	特別展示室
企画展「立川の遺跡2009」	平成22年1月19日～2月21日	特別展示室
ミニ企画展「桃の節句」	平成22年2月6日～3月7日	ラウンジ・古民家園
企画展「新収蔵品展」	平成22年3月27日～5月5日	特別展示室

この年は「立川の遺跡」は夏に開催せず、冬に開催しました。夏には昭和20～40年代の生活道具を展示した「昔の道具展」を開催しました。

平成22年度(2010)

ミニ企画展「端午の節句」	平成22年4月10日～5月5日	ラウンジ・古民家園
企画展「立川の遺跡2010」	平成22年7月27日～9月5日	特別展示室
企画展「甲武鉄道と立川」	平成22年10月16日～12月12日	特別展示室
写真展「立川の風景」	平成22年12月11日～1月16日	廊下
ミニ企画展「桃の節句」	平成23年2月12日～3月6日	ラウンジ・古民家園
企画展「新収蔵品展」	平成23年3月8日～4月5日	特別展示室

平成23年度(2011)

ミニ企画展「端午の節句」	平成23年4月10日～5月8日	ラウンジ・古民家園
企画展「鈴木家文書と甲武鉄道」	平成23年5月28日～7月3日	特別展示室
企画展「立川の遺跡2011」	平成23年7月26日～9月4日	特別展示室
企画展「役場文書と砂川村」	平成23年11月1日～12月18日	特別展示室
ミニ企画展「桃の節句」	平成24年2月12日～3月6日	ラウンジ
企画展「新収蔵品展」	平成24年3月10日～4月15日	特別展示室

当館に寄託されている「鈴木家文書」には甲武鉄道関連の文書が残されています。前年度の「甲武鉄道と立川」において展示できなかった資料を「鈴木家文書と甲武鉄道」にて展示しました。平成22年度から砂川村文書研究会と共同で、当館で保管されている旧砂川村・町の公文書の整理・研究を進めてきました。「役場文書と砂川村」はその途中経過を展示・紹介しました。

平成24年度(2012)

ミニ企画展「端午の節句」	平成24年4月8日～5月6日	ラウンジ・古民家園
企画展「多摩地区と我が家の戦争・戦後」	平成24年7月10日～7月22日	特別展示室・ラウンジ
企画展「立川の遺跡2012」	平成24年7月31日～9月2日	特別展示室
ミニ企画展「はきもの～足元の移り変わり～」	平成24年9月25日～10月28日	ラウンジ

特別展・企画展一覧表 平成24年度～平成26年度

平成24年度(2012)

展 示 名	期 間	場 所
企画展「立川の文化財」	平成24年11月1日～11月30日	特別展示室
ミニ企画展「電話～通信機器の移り変わり～」	平成24年12月8日～1月11日	ラウンジ
ミニ企画展「桃の節句」	平成25年2月2日～3月3日	ラウンジ・古民家園
企画展「新収蔵品展」	平成25年3月17日～4月14日	特別展示室
「多摩地区と我が家の戦争・戦後」は、平和都市宣言20周年事業でした。		

平成25年度(2013)

ミニ企画展「端午の節句」	平成25年4月6日～5月6日	ラウンジ・古民家園
「機織り実演」	平成25年6月1日～6月28日	ラウンジ
企画展「立川の遺跡2013」	平成25年7月23日～9月1日	特別展示室
企画展「合併50周年 立川市と砂川町」	平成25年11月1日～12月1日	特別展示室
ミニ企画展「1964 東京オリンピック in Tachikawa」	平成25年12月14日～1月19日	ラウンジ
企画展「新収蔵品展」	平成26年3月15日～4月20日	特別展示室
「とんからりん機織クラブ」の協力を得て、機織りの実演をしていただきました。平成27年度も行っています。		

平成26年度(2014)

ミニ企画展「端午の節句」	平成26年4月8日～5月6日	ラウンジ・古民家園
ミニ企画展「砂川闘争絵画展Ⅰ」	平成26年6月3日～7月13日	ラウンジ
企画展「立川の遺跡2014」	平成26年7月23日～8月31日	特別展示室
ミニ企画展「砂川闘争絵画展Ⅱ」	平成26年9月2日～10月13日	ラウンジ
企画展「青鉄と五鉄」	平成26年10月21日～12月14日	特別展示室
ミニ企画展「ちょっとむかしのくらしとその道具～台所の風景より～」	平成26年12月20日～1月31日	ラウンジ
ミニ企画展「桃の節句」	平成27年2月3日～3月8日	ラウンジ・古民家園
企画展「梅田家と梅田診療所」	平成27年2月14日～3月31日	特別展示室
昭和30年代に砂川地区で起こった基地拡張計画反対運動を砂川闘争と呼びます。画家の新海寛雄は闘争にかかわり、地元の人々の肖像画を描きました。「砂川闘争絵画展」では市が購入した肖像画を展示しました。「青鉄と五鉄」は青梅鉄道と五日市鉄道の展示。青梅市・奥多摩町・昭島市・羽村市・福生市と連携して、講演会・ミュージアムトーク等の事業を行いました。高松町にあった国登録有形文化財「旧梅田診療所」が、平成24年に解体されました。「梅田家と梅田診療所」展では梅田診療所に関連する展示を行いました。		

※平成27年度の展示 12頁の資料館・古民家園の催しをご覧ください。

特集2 古民家園に復元された市指定有形民俗文化財

須崎家内蔵

立川市文化財保護審議会委員 稲葉 和也（建築史）

平成 28 年 3 月、幸町の川越道緑地古民家園内で須崎家内蔵の復元工事が竣工しました。すでに移築されている小林家住宅（嘉永^{かえい}5 年・1852 建築 市指定文化財）とともに旧砂川村の古建築が保存され、これから色々に活用されることが期待されます。

旧砂川村は五日市街道に沿って村が形成されており、一番組から十番組までの組が西から東に向かって並んでいました。

さて、この須崎家の土蔵は移築復元される前には旧砂川村の八番組（現幸町）にありました。土蔵内に保管されていた古文書類などの記録が近年整理、解読されつつあり、須崎家の歴史も少し分ってきました（『須崎家文書を調べ、残し、活かし、伝える』東京大学経済学部資料室特別専門職員 富善一敏氏、『幕末期における砂川村八番組の家々と組頭の役割』太田尚宏氏 共に多摩郷土誌フェア関連講演会講演）。それらの記録によると、須崎家は 13 代続く旧家で、幕末期には八番組の組頭を勤め、屋号は「七郎大尽^{しちろうだいじん}」と呼ばれ、

七郎右衛門を名乗っていました。嘉永 2 年（1849）『質物出入帳^{しちもつていりちょう}』、文久 2 年（1862）の八番組の『御用留^{ごようどめ}』、文久 3 年（1863）『宗門人別改メ帳^{しゅうもんじんべつあらた}』などから、当家は組頭であるとともに、質屋も営んでいたようです。

八番組には 28 戸あり、須崎家の家族構成は 14 人（男 10、女 4）で、内 4 人が奉公人でした。組の中では家族数も、奉公人も一番多く、馬も 1 頭持つ、裕福な家でした。

江戸時代末期から養蚕が盛んになりましたが、明治期には製糸、織物業、農閑期には桑苗の販売で潤い、多摩地域では豊かな農村となりました。

かつて五日市街道沿いの集落には街道の両側にケヤキの高木が並び、防風や日陰を提供してきましたが、この砂川では街道沿いに蔵が並び、他では見られない景観でした。蔵は養蚕がもたらした豊かさの象徴でした。

須崎家の内蔵は、平成 23 年取り壊されることになりましたが、それを聞いた八番組自治会では取りあえず解体保存しておきました。

市教育委員会では須崎家の内蔵が、市内でも珍しい三階建てで、かつて質蔵として使われていたことや、蔵の中に保存されていた古文書や箱階段など貴重な民俗遺産であることから寄贈を受け、平成 25 年 3 月有形民俗文化財に指定しました。



解体前の石積の外観

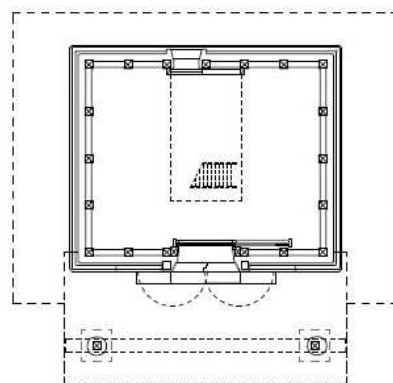


石積みの下には軸部が良く遺る

保存された内蔵は戦後、土壁を落として外壁に大谷石が張られ、屋根は土居塗り※1 の上に直接瓦が葺かれていました。しかし、解体された部材を調べますと、内部の柱や梁などの構造材は当初のままで、内壁の柱間には一階から三階までケヤキ板が落とし込まれる防湿構法が取られ、

屋根は茅葺きの置屋根※2 でしたので輻射熱が土蔵内部に伝わらず、しかも屋根が燃えても本体には延焼せず安全でした。三階の小屋組は棟の牛梁と登梁で組まれた構法が取られ、使われていた釘が四角い和釘であったことなどから、江戸時代後期から明治初期頃に建てられたものと推定されます。母屋の裏手にあった内蔵ですが、質屋を営んでいたため質蔵として使われていたのでしょう。三階建ての土蔵は江戸の町場でも大店の豪商の家にはしか建てられなかったもので、まして農村では珍しいものでした。砂川村では名主であった砂川家の土蔵が三階建てで、他には無かったようです。

指定された内蔵はその後、幸町の古民家園内に復元されることが決まり、計画案が検討され、古材は傷み具合や構造上の見地から、出来るだけ新材に替え、安全上見学できる階数は一階だけとなりました。



一階平面図

完成した須崎家内蔵は間口2.5 間(4.5m)、奥行 2 間(3.6m)、妻入り

で、^{ひさし}庇が付きます。置屋根で瓦葺き、^{しっくい}壁は漆喰仕上げです。柱は5寸(15.2cm)で太く、土台から三階の^{すん}桁まで通り、上部で登梁を受け、棟木の牛梁の上で留められます。牛梁は妻の^{てんびんぼり}天秤梁で支えられ、左右の柱に力が分散されて、耐震的役割をしています。

床の高さは一階は利用勝手上高くされましたが、二、三階は旧状のままです。板壁のケヤキ板はカンナを掛けましたが、昔の板が使われています。

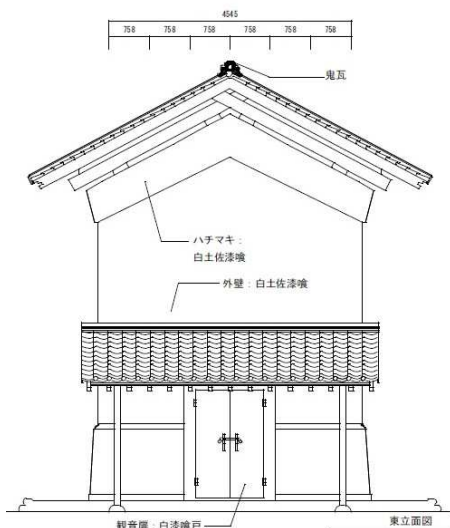
ケヤキ造りの箱階段は装飾的なものですが、階段が引き出しになっており、貴重な書類入れとして使われました。

「須崎家内蔵」は、平成 28 年 4 月 21 日に一般公開を開始します。古民家園内に復元された蔵をぜひ見に来てください。

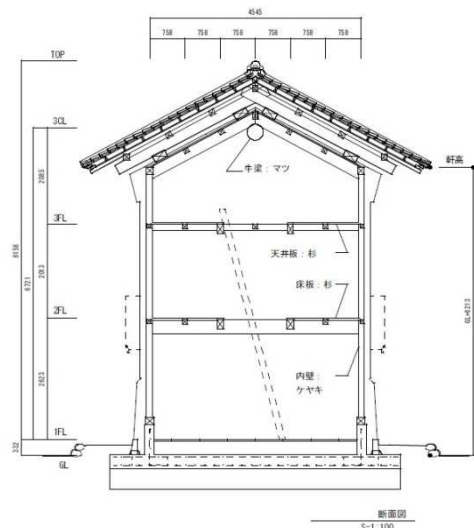


牛梁
登梁
天秤梁

上:一階内部 下:三階牛梁と登梁



正面立面図



梁行断面

【編集部註】

- ※1 土居塗り 瓦の下に粘土を塗ること
- ※2 置屋根 建物の上面にも塗り込めた蔵の上に、独立した屋根を乗せる工法です。

平成27年度 資料館・古民家園の催し

平成27年度資料館では、企画展や体験学習などさまざまな催しを行いました。

平成27年度 企画展・ミニ企画展

展 示 名	期 間	場 所
ミニ企画展 端午の節句	4/11(土)～5/6(祝)	資料館・古民家園
企画展 新収蔵品展	5/19(火)～6/21(日)	資料館
ミニ企画展 七夕飾り	6/30(火)～7/7(火)	資料館・古民家園
企画展 立川の遺跡 2015	7/22(水)～9/6(日)	資料館
機織り実演	8/4(火)～8/21(金)	資料館
写真展 立川駅前の移り変わり	9/12(土)～10/12(祝)	資料館
ミニ企画展 砂川闘争肖像画展	10/1(木)～12/6(日)	資料館
文化財ウィーク特別展示 銅鉦鼓展	10/24(土)～12/6(日)	資料館
企画展 中世の立川	10/24(土)～12/6(日)	資料館
ミニ企画展 ちょっとむかしのくらしと その道具～せんたくとのす道具～	12/22(火)～1/24(日)	資料館
ミニ企画展 桃の節句	2/2(火)～3/6(日)	資料館・古民家園

平成27年度 体験学習

場所	講 座 名	実 施 日	人 数
歴 史 民 俗 資 料 館	手打ちそば作り	5/17(日)	36
	資料館で落語を楽しみませんか	6/28(日)	19
	玉ねぎの皮でハンカチを染めよう(染物体験)	8/1(土)	17
	手打ちうどん作りと十五夜飾り	9/20(日)	17
	正しい拓本の取り方を学びませんか(全2回)	9/26(土)	10
		10/3(土)	13
	手打ちそば作り	11/15(日)	26
	餅つきと鏡餅作り	12/13(日)	31
	繭玉飾りと七草粥作り	1/10(日)	14
	手打ちうどん作り	2/14(日)	23
草餅作り	3/27(日)	34	
市 内	多摩川の自然観察	4/26(日)	14
	市内文化財散歩～立川の古村を歩く	11/1(日)	18

講 演 会 ・ 講 座 ・ 見 学 会

名 称	会 場	実施日	人数
古文書入門講座「立川の歴史と古文書を学ぶ」	資料館	10/30(金) 11/13(金) 11/27(金) 12/11(金)	延べ 103
講演会 印刷本からわかること～文字から立川を探る～	資料館	11/29(日)	20
市指定有形民俗文化財「須崎家内蔵」復元工事漆喰塗装見学会	古民家園	12/25(金)	6
多摩郷土誌フェア関連講演会 「公私日記」に見る江川代官と地域支配	女性総合センター	1/23(土)	48
多摩郷土誌フェア関連講演会 新発見！砂川村須崎家文書の世界	女性総合センター	1/23(土)	59

平成27年度 出張事業

事 業 名	期 間	場 所
出張事業 二ホンゴ探検 2015	7/18(土)	国立国語研究所
企画展 戦後70年 資料が語る、戦争とその暮らし	8/1(土)～ 8/30(日)	柴崎学習館
共催事業 市政情報コーナー・夏休み特別企画 立川のことを知ろう！～立川のむかしむかし～	8/4(火)	市役所市政情報 コーナー
まゆ玉工作と昔の道具体験 (市立新生小学校特別支援学級)	9/18(金)	資料館
出前授業 昔の道具体験(市立第7小学校3年生)	1/21(木)	市立第7小学校
出前授業 昔の道具体験(市立松中小学校3年生)	1/22(金)	市内松中小学校
出前授業 昔の道具体験(市立南砂小学校3年生)	2/10(水)	古民家園
出前授業 昔の道具体験(国分寺市立第8小学校3年生)	2/17(水)	古民家園
出前授業 昔の道具体験(市立第9小学校3年生)	2/18(木)	市内第9小学校
出前授業 昔の道具体験(市立若葉小学校3年生)	2/19(金)	古民家園

平成 27 年度 その他事業

事業名	期間	場所
協働事業 機織り体験（西立川保育園）	6/2（火）	資料館
共催展示 梅田家と梅田診療所	6/10（水）～ 7/10（金）	高松学習館
協働展示 よみがえる機織り	6/10（水）～ 7/3（金）	たましん富士見 町支店
はた織りまつり・夏	8/30（日）	資料館
市民交流大学講座 「立川の民具の特徴～修理・活用方法～」	9/6（日） 9/15（火） 10/20（火）	資料館
市民交流大学講座「縄文人のお食事」	10/18（日） 11/8（日）	資料館
共催事業 Art in Farm2015 むかしの道具を体験して みよう！～収蔵資料の農具で疑似脱穀～	10/24（土）	資料館
共催事業 Art in Farm2015 藍染め体験 （とんからりん機織りクラブ協力）	10/24（土）	資料館
共催事業 Art in Farm2015 葉画家と建築環境学者のトークショー	10/24（土）	資料館
はた織りまつり・春	3/20（日）	資料館

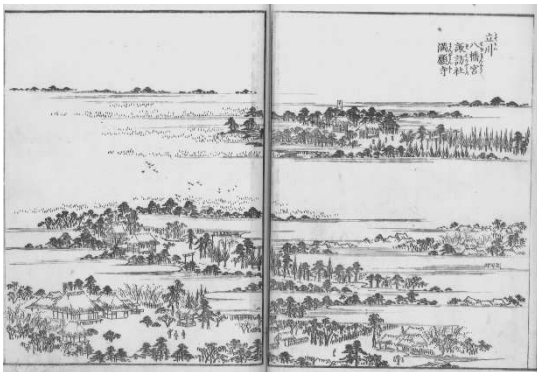
古民家園茶点事業

回数	実施日	人数	回数	実施日	人数
1	4/15（水）	6	7	10/14（水）	20
2	4/29（祝）	15	8	10/25（日）	27
3	5/19（火）	20	9	11/15（日）	28
4	5/31（日）	38	10	11/25（水）	25
5	9/6（日）	13	11	3/6（日）	25
6	9/30（水）	14	12	3/11（金）	8

市指定史跡「満願寺跡」の整備工事について

満願寺跡は、柴崎町1丁目、諏訪神社や市指定天然記念物の八幡神社大げやき等、文化財が数多く残る江戸時代柴崎村の中心として栄えた地域に所在した寺院跡です。

江戸元禄期に荒廃していた東光院という寺を、黄檗宗の高僧鉄牛が医王山満願寺として再興したのがはじまりで、境内に堂宇を構え、地域の人々の信仰を集めてきましたが、明治8年の廃仏毀釈によって廃寺となり、現在は井戸のみが往時の姿を留めています。



江戸名所図絵 天保5年(1834年)

平成27年、指定史跡の保存と公開等の活用を図ることを目的に、民有地内にあった井戸を含む約16㎡の敷地を公有化し、平成28年3月まで文化財の修復等の整備工事を行い、整備に合わせ、井戸の文化財調査を実施しました。

多摩川沖積地へと下る立川段丘崖から350m離れた台地上、標高84m地点に井戸は位置します。規模は井桁の内径0.9m、底面までの深さ7.7

m、1月の調査時には、水面まで7.3mを計測しました。構造は、井戸の底に向かい内径が1.2mまで膨らみ、底面には直径0.6m、深さ0.5m、底を欠いた桶状の井筒が埋まっています。井側は底面から井桁まで長径約30cmの自然石が隙間なく積み上げられ、地表では二重に列石されて直径は2.1mを測ります。



石積みの状況(地表から井筒に向け)

構築年代を調べる目的で、井戸内に堆積した土砂をすくい上げ、出土物の調査を行いました。その結果、昭和26年以降の水道普及によって、井戸水の利用を止めてから落下したと思われる陶磁器や木製品、プラスチック類が大半を占める中で、幕末期に遡る陶器片が見ついています。また井戸の周囲で実施した発掘調査では、18世紀に遡る陶器片は出土しましたが、寺院の創建時、またそれ以前に遡る資料は発見されませんでした。また、井側や井筒の形態から推測しても近世期に造られた井戸と



出土品 左側が古く右側が新しい
考えられます。地域の人々の手
より大切に保存されてきた文化財を
未来へ継承する修復・整備を終え、
一般公開を開始しました。文化財散

策の際は、ぜひお立ち寄りください。



整備後の状況

新指定！立川氏文書

平成 28 年 3 月 25 日、「立川氏
文書」(個人所有分)が市指定有形文
化財に指定されました。

立川氏は、中世の立川地域とその
周辺で活躍していた武士です。平成
13 年には、寄贈された立川氏文書
および立川系図が市有形文化財に指
定されています。

今回指定した「立川氏文書」は、
平成 13 年度指定分の中に所収され
ている江戸時代に写された文書の原
本 3 点であることが確認されたもの

で、3点いずれも鎌倉時代の中世文
書です。そのうち2点は、土地を譲
渡する時に、譲渡者から土地取得者
へ土地譲渡の証拠として渡す譲状と
いうもので、もう1点は、立川氏が
立川および日野周辺の土地を買いと
った際に幕府から安堵された文書で
す。

中世の立川を知る重要な文化財
を大切に保存していき、より一層の
活用と普及に努めていきます。

資料館だより 第20号

発行日 2016年(平成28年)3月31日
編集・発行 立川市歴史民俗資料館
(立川市教育委員会教育部生涯学習推進センター文化財係)
住所 〒190-0013 立川市富士見町3丁目12番34号
TEL:042-525-0860 FAX:042-525-1236